

## 原子力発電所の新規制基準適合性審査の状況について

令和元年11月13日  
原子力規制庁

原子力規制委員会では、事業者から提出された原子炉設置変更許可、工事計画認可、保安規定変更認可に係る申請について、審査を進めている（これまでに16発電所27プラントについて申請を受理。）。申請状況及び設置変更許可等の処分の状況は別紙1のとおり。

特定重大事故等対処施設について、事業者から提出された同施設に関する原子炉設置変更許可、工事計画認可、保安規定変更認可に係る申請の審査を進めている（これまでに11発電所18プラントについて申請を受理。）。これらの申請状況及び設置変更許可等の処分の状況は別紙2のとおり。

また、所内常設直流電源設備（3系統目）についても、事業者から提出された同設備に関する原子炉設置変更許可、工事計画認可に係る申請の審査を進めている（これまでに10発電所16プラントについて申請を受理。）。これらの申請状況及び設置変更許可等の処分の状況は別紙3のとおり。

新規制基準適合性に係る審査を行っている原子力発電所の審査状況は別紙4のとおり。

審査における主な課題及びその審査の現状は別紙5及び別紙6のとおり。

以上

## 新規制基準適合性に係る申請及び処分の状況

令和元年 11 月 13 日現在

申請者	対象発電炉（号炉）	炉型	設置変更許可		工事計画認可		保安規定変更認可	
			申請日	処分日	申請日	処分日	申請日	処分日
北海道電力	泊発電所（1・2号炉）	PWR	平成 25 年 7 月 8 日		平成 25 年 7 月 8 日		平成 25 年 7 月 8 日	
北海道電力	泊発電所（3号炉）	PWR	平成 25 年 7 月 8 日		平成 25 年 7 月 8 日		平成 25 年 7 月 8 日	
関西電力	大飯発電所（3・4号炉）	PWR	平成 25 年 7 月 8 日	平成 29 年 5 月 24 日	平成 25 年 7 月 8 日	平成 29 年 8 月 25 日	平成 25 年 7 月 8 日	平成 29 年 9 月 1 日
関西電力	高浜発電所（3・4号炉）	PWR	平成 25 年 7 月 8 日	平成 27 年 2 月 12 日	平成 25 年 7 月 8 日	3号機：平成 27 年 8 月 4 日 4号機：平成 27 年 10 月 9 日	平成 25 年 7 月 8 日	平成 27 年 10 月 9 日
四国電力	伊方発電所（3号炉）	PWR	平成 25 年 7 月 8 日	平成 27 年 7 月 15 日	平成 25 年 7 月 8 日	平成 28 年 3 月 23 日	平成 25 年 7 月 8 日	平成 28 年 4 月 19 日
九州電力	川内原子力発電所（1・2号炉）	PWR	平成 25 年 7 月 8 日	平成 26 年 9 月 10 日	平成 25 年 7 月 8 日	1号機：平成 27 年 3 月 18 日 2号機：平成 27 年 5 月 22 日	平成 25 年 7 月 8 日	平成 27 年 5 月 27 日
九州電力	玄海原子力発電所（3・4号炉）	PWR	平成 25 年 7 月 12 日	平成 29 年 1 月 18 日	平成 25 年 7 月 12 日	3号機：平成 29 年 8 月 25 日 4号機：平成 29 年 9 月 14 日	平成 25 年 7 月 12 日	平成 29 年 9 月 14 日
東京電力	柏崎刈羽原子力発電所（6・7号炉）	BWR	平成 25 年 9 月 27 日	平成 29 年 12 月 27 日	平成 25 年 9 月 27 日		平成 25 年 9 月 27 日	
中国電力	島根原子力発電所（2号炉）	BWR	平成 25 年 12 月 25 日		平成 25 年 12 月 25 日		平成 25 年 12 月 25 日	
東北電力	女川原子力発電所（2号炉）	BWR	平成 25 年 12 月 27 日		平成 25 年 12 月 27 日		平成 25 年 12 月 27 日	
中部電力	浜岡原子力発電所（4号炉）	BWR	平成 26 年 2 月 14 日 平成 27 年 1 月 26 日 <sup>1</sup>		平成 26 年 2 月 14 日		平成 26 年 2 月 14 日	
日本原子力発電	東海第二発電所 <sup>2</sup>	BWR	平成 26 年 5 月 20 日	平成 30 年 9 月 26 日	平成 26 年 5 月 20 日	平成 30 年 10 月 18 日	平成 26 年 5 月 20 日	
東北電力	東通原子力発電所（1号炉）	BWR	平成 26 年 6 月 10 日		平成 26 年 6 月 10 日		平成 26 年 6 月 10 日	
北陸電力	志賀原子力発電所（2号炉）	BWR	平成 26 年 8 月 12 日		平成 26 年 8 月 12 日		平成 26 年 8 月 12 日	
電源開発	大間原子力発電所	BWR	平成 26 年 12 月 16 日		平成 26 年 12 月 16 日			
関西電力	美浜発電所（3号炉） <sup>3</sup>	PWR	平成 27 年 3 月 17 日	平成 28 年 10 月 5 日	平成 27 年 11 月 26 日	平成 28 年 10 月 26 日	平成 27 年 3 月 17 日	
関西電力	高浜発電所（1・2（3・4）号炉） <sup>4</sup>	PWR	平成 27 年 3 月 17 日	平成 28 年 4 月 20 日	平成 27 年 7 月 3 日	平成 28 年 6 月 10 日	令和元年 7 月 31 日	
中部電力	浜岡原子力発電所（3号炉）	BWR	平成 27 年 6 月 16 日					
日本原子力発電	敦賀発電所（2号炉）	PWR	平成 27 年 11 月 5 日				平成 27 年 11 月 5 日	
中国電力	島根原子力発電所（3号炉）	BWR	平成 30 年 8 月 10 日					

1 平成 26 年 2 月 14 日付けで申請された発電用原子炉設置変更許可申請書について、使用済燃料乾式貯蔵施設を追加するため、平成 27 年 1 月 26 日付けで取下げ及び再申請がなされた。

2 平成 29 年 11 月 24 日付けで申請された運転期間延長認可申請について、平成 30 年 11 月 7 日に認可した。

3 平成 27 年 11 月 26 日付けで申請された運転期間延長認可申請について、平成 28 年 11 月 16 日に認可した。

4 平成 27 年 4 月 30 日付けで申請された運転期間延長認可申請について、平成 28 年 6 月 20 日に認可した。

灰色：処分済

赤字：前回（令和元年 5 月 15 日）の報告時からの変更点

## 特定重大事故等対処施設に係る申請及び処分の状況

令和元年 11 月 13 日現在

申請者	対象発電炉（号炉）	経過措置期間の満了日	設置変更許可		工事計画認可		保安規定変更認可		
			申請日	処分日	申請日	処分日	申請日	処分日	
東京電力	柏崎刈羽原子力発電所 （6・7号炉） <sup>1</sup>		平成 26 年 12 月 15 日						
電源開発	大間原子力発電所		平成 26 年 12 月 16 日						
関西電力	高浜発電所 （3・4号炉）	3号機： 令和 2 年 8 月 3 日 4号機： 令和 2 年 10 月 8 日	平成 26 年 12 月 25 日	平成 28 年 9 月 21 日	平成 29 年 4 月 26 日	令和元年 8 月 7 日			
九州電力	川内原子力発電所 （1・2号炉）	1号機： 令和 2 年 3 月 17 日 2号機： 令和 2 年 5 月 21 日	平成 27 年 12 月 17 日	平成 29 年 4 月 5 日	1号機： （第 1 回）平成 29 年 5 月 24 日 （第 2 回）平成 29 年 8 月 8 日 （第 3 回）平成 30 年 3 月 9 日 2号機： （第 1 回）平成 29 年 7 月 10 日 （第 2 回）平成 29 年 8 月 8 日 （第 3 回）平成 30 年 3 月 9 日	1号機： （第 1 回）平成 30 年 5 月 15 日 （第 2 回）平成 30 年 7 月 26 日 （第 3 回）平成 31 年 2 月 18 日 2号機： （第 1 回）平成 30 年 8 月 10 日 （第 2 回）平成 30 年 8 月 31 日 （第 3 回）平成 31 年 4 月 12 日	令和元年 8 月 2 日		
北海道電力	泊発電所（3号炉）		平成 27 年 12 月 18 日						
四国電力	伊方発電所 （3号炉）	令和 3 年 3 月 22 日	平成 28 年 1 月 14 日	平成 29 年 10 月 4 日	（第 1 回）平成 29 年 12 月 7 日 （第 2 回）平成 30 年 3 月 16 日 （第 3 回）平成 30 年 5 月 11 日 （第 4 回）平成 30 年 8 月 13 日 （第 5 回）令和元年 7 月 11 日	（第 1 回）平成 31 年 3 月 25 日  （第 4 回）令和元年 10 月 10 日			
中国電力	島根原子力発電所 （2号炉）		平成 28 年 7 月 4 日						
関西電力	高浜発電所 （1・2（3・4）号炉）	令和 3 年 6 月 9 日	平成 28 年 12 月 22 日	平成 30 年 3 月 7 日	1号機： （第 1 回）平成 30 年 3 月 8 日 （第 2 回）平成 30 年 11 月 16 日 （第 3 回）平成 31 年 3 月 15 日 （第 4 回）令和元年 5 月 31 日 2号機： （第 1 回）平成 30 年 3 月 8 日 （第 2 回）平成 30 年 11 月 16 日 （第 3 回）平成 31 年 3 月 15 日 （第 4 回）令和元年 5 月 31 日	1号機： （第 1 回）平成 31 年 4 月 25 日 （第 2 回）令和元年 9 月 13 日 （第 3 回）令和元年 10 月 24 日 2号機： （第 1 回）平成 31 年 4 月 25 日 （第 2 回）令和元年 9 月 13 日 （第 3 回）令和元年 10 月 24 日			
九州電力	玄海原子力発電所 （3・4号炉）	3号機： 令和 4 年 8 月 24 日 4号機：	平成 29 年 12 月 20 日	平成 31 年 4 月 3 日	3号機： （第 1 回）令和元年 5 月 16 日 （第 2 回）令和元年 9 月 19 日				

		令和 4 年 9 月 13 日			4 号機 : (第 1 回) 令和元年 6 月 18 日 (第 2 回) 令和元年 9 月 19 日			
関西電力	美浜発電所 ( 3 号炉 )	令和 3 年 10 月 25 日	平成 30 年 4 月 20 日					
関西電力	大飯発電所 ( 3 ・ 4 号炉 )	令和 4 年 8 月 24 日	平成 31 年 3 月 8 日					
日本原子力発電	東海第二発電所	令和 5 年 10 月 17 日	令和元年 9 月 24 日					

1 令和元年 10 月 24 日付けの補正で、1 号炉に係る申請が取り下げられた。

灰色 : 処分済

赤字 : 前回 ( 令和元年 5 月 15 日 ) の報告時からの変更点

## 所内常設直流電源設備（3系統目）に係る申請及び処分の状況

令和元年 11 月 13 日現在

申請者	対象発電炉（号炉）	経過措置期間の満了日	設置変更許可		工事計画認可		保安規定変更認可	
			申請日	処分日	申請日	処分日	申請日	処分日
電源開発	大間原子力発電所		平成 26 年 12 月 16 日					
北海道電力	泊発電所（3号炉）		平成 27 年 12 月 18 日					
九州電力	川内原子力発電所（1・2号炉）	1号機： 令和2年3月17日 2号機： 令和2年5月21日	平成 28 年 3 月 25 日	平成 29 年 2 月 8 日	平成 29 年 7 月 10 日	平成 30 年 1 月 29 日		
中国電力	島根原子力発電所（2号炉）		平成 28 年 7 月 4 日					
関西電力	高浜発電所（3・4号炉）	3号機： 令和2年8月3日 4号機： 令和2年10月8日	平成 29 年 3 月 17 日	平成 29 年 6 月 28 日	令和元年 8 月 22 日			
四国電力	伊方発電所（3号炉）	令和 3 年 3 月 22 日	平成 29 年 11 月 15 日	平成 30 年 6 月 27 日	平成 31 年 2 月 27 日			
関西電力	高浜発電所（1・2（3・4）号炉）	令和 3 年 6 月 9 日	平成 30 年 2 月 5 日 令和元年 6 月 14 日 <sup>1</sup>	令和元年 9 月 25 日				
関西電力	美浜発電所（3号炉）	令和 3 年 10 月 25 日	平成 30 年 4 月 20 日					
関西電力	大飯発電所（3・4号炉）	令和 4 年 8 月 24 日	平成 31 年 3 月 8 日					
九州電力	玄海原子力発電所（3・4号炉）	3号炉： 令和4年8月24日 4号炉： 令和4年9月13日	平成 31 年 3 月 28 日					
日本原子力発電	東海第二発電所	令和 5 年 10 月 17 日	令和元年 9 月 24 日					

1 平成 30 年 2 月 5 日付けで申請された発電用原子炉設置変更許可申請について、令和元年 6 月 14 日付けの補正において所内常設直流電源設備（3系統目）に係る内容が取り下げられ、同日付で再申請がなされた。

灰色：処分済

赤字：前回（令和元年 5 月 15 日）の報告時からの変更点

新規制基準適合性審査における主な審査状況(設置変更許可)

		PWR		敦賀2	女川2	島根2	島根3	BWR			志賀2	大間												
		泊1,2	泊3					浜岡4	浜岡3	東通														
地震・津波	地質	敷地の地質・地質構造		審査中(敷地内破砕帯の活動性評価)	おおむね審議済	おおむね審議済	地震動評価、津波影響評価、火山影響評価については、島根2号の知見を反映して審査を行う	審査中(敷地内破砕帯の活動性評価)		おおむね審議済	審査中(敷地内破砕帯の活動性評価)	審査中(敷地内破砕帯の活動性評価)												
		敷地周辺の地質・地質構造		おおむね審議済				おおむね審議済		審査中(敷地内に連続している断層を含む)	審査中	審査中												
	地震動	地下構造		おおむね審議済				おおむね審議済	おおむね審議済	審査中(プレート間地震の地震動評価)			敷地内破砕帯の活動性評価から審議	審査中										
		震源を特定して策定する地震動		審査中(積丹半島北西沖の断層による地震動評価)							審査中(浦底断層による地震動評価)													
		震源を特定せず策定する地震動		おおむね審議済																				
		基準地震動		審査中(積丹半島北西沖の断層による地震動評価)																				
	津波	地震による津波		審査中(日本海東縁部に想定される地震による津波の再評価、積丹半島北西沖の断層による津波評価)				おおむね審議済	おおむね審議済	審査中(プレート間地震による津波評価)	審査中		敷地内破砕帯の活動性評価から審議	審査中										
		地震以外による津波		おおむね審議済							審査中				審査中									
		基準津波		審査中(日本海東縁部に想定される地震による津波の再評価、積丹半島北西沖の断層による津波評価)							敷地内破砕帯の活動性評価、浦底断層による地震動評価から審議													
	地盤・斜面の安定性									審査中(防波壁及び1号放水連絡路防波岸の周辺斜面の安定性評価)														
火山事象		審査中(火山活動の可能性評価、降下火砕物の層厚の再評価)				審査中(大山生竹テフラの噴出規模について、最新知見を反映した再評価)																		
プラント	耐震設計方針		審査中(防潮堤等に関する耐震設計方針)		おおむね審議済	おおむね審議済	概要説明を聴取、島根2を優先して審査を実施中	審査中		概要説明を聴取し、主要な論点を提示、浜岡4を優先して審査を実施中	概要説明を聴取し、主要な論点を提示、先行の審査状況を踏まえ審査資料を準備するよう指示	概要説明を聴取し、主要な論点を提示、先行の審査状況を踏まえ審査資料を準備するよう指示												
	耐津波設計方針		審査中(防潮堤等に関する耐津波設計方針)					審査中					審査中											
	DB	外部事象	竜巻に対する設計方針					概要説明を聴取し、主要な論点を提示、泊3を優先して審査を実施中	おおむね審議済				おおむね審議済	概要説明を聴取、島根2を優先して審査を実施中	審査中		概要説明を聴取し、主要な論点を提示、先行の審査状況を踏まえ審査資料を準備するよう指示	概要説明を聴取し、主要な論点を提示、先行の審査状況を踏まえ審査資料を準備するよう指示						
			火山に対する設計方針												おおむね審議済				審査中					
			外部火災に対する設計方針												審査中				審査中					
			その他自然現象等に対する設計方針												審査中				審査中					
	内部火災		審査中					おおむね審議済					審査中		一部着手(乾式貯蔵に係る設計を含む。)									
	内部溢水		審査中					おおむね審議済					審査中		審査中									
	安全施設等		審査中					審査中					審査中		審査中									
	SA	有効性評価	炉心損傷防止					概要説明を聴取し、主要な論点を提示、泊3を優先して審査を実施中	おおむね審議済				おおむね審議済	概要説明を聴取、島根2を優先して審査を実施中	審査中		概要説明を聴取し、主要な論点を提示、先行の審査状況を踏まえ審査資料を準備するよう指示	概要説明を聴取し、主要な論点を提示、先行の審査状況を踏まえ審査資料を準備するよう指示						
			格納容器破損防止												審査中				審査中					
			使用済燃料貯蔵槽												審査中				審査中					
			停止時												審査中				審査中					
			シーケンス選定												審査中				審査中					
			解析コード												審査中				審査中					
		設備・手順	停止失敗時未臨界確保												審査中				審査中		審査中		審査中	
			炉心冷却(高压冷却、減圧、低压冷却)												審査中				審査中		審査中		審査中	
			最終ヒートシンク												審査中				審査中		審査中		審査中	
			格納容器(冷却、過圧破損防止、下部注水)												審査中				審査中		審査中		一部着手(格納容器圧力逃がし装置)	
			水素対策(格納容器、原子炉建屋)												審査中				審査中		審査中		審査中	
使用済燃料貯蔵槽			審査中		審査中		審査中			審査中														
緊急時対策所		審査中		審査中		審査中		審査中																
その他(監視測定、通信連絡等)		審査中		審査中		審査中		審査中																
大規模損壊		審査中		審査中		審査中		審査中																
技術的能力		審査中		審査中		審査中		審査中																
備考																								

注) おおむね審議済であっても、審査の過程で追加の課題が出てくることも有り得る。

空欄: 未審議のもの 一部着手: 一部の論点について議論を開始したもの(括弧書きは着手した論点) 審査中: 一通り審議を開始したもの(括弧書きは主要な論点)

【本体施設】

	主な課題	審査の現状及び課題	備考
泊 1, 2号	プラント側の審査では、再解析結果を含む補正申請の概要を聴取し、主要な論点を通知済	平成25年7月、事業者より、泊3号の設置許可申請を優先して審査して欲しい旨の表明があった。 それを踏まえ、規制庁は、泊3号の審査を優先している。	
泊3号	敷地内断層の活動性評価	平成31年2月の審査会合において、段丘編年による上載地層の検討の結果、F-1断層の活動性評価について、F-1断層開削調査箇所による調査結果としては約40万年前以降に活動したことは確かであり、また約12～13万年前以降の活動性がないという明確な根拠は得られていないと判断したことを伝えた。 平成31年4月の審査会合において、事業者から、F-1断層の活動性評価に当たって、追加調査を実施するとの説明があり、令和元年11月の審査会合において、事業者から、F-1断層開削調査箇所北側露頭及び南側露頭に関する追加調査結果の説明があった。 今後、11月15日に行う現地調査において、事業者から説明のあった追加調査結果の内容について確認を行う。	F-1断層の活動性評価については、11月15日の現地調査結果も踏まえて、審議を行う予定。 また、令和元年11月の審査会合において、事業者から、以下のような発言があった。 日本海東縁部に想定される地震による津波の再評価については、説明準備ができ次第、審査会合で説明する。 火山影響評価については、敷地内断層の活動性評価の審査への対応を優先したい。
	積丹半島北西沖の断層による地震動評価	震源モデルの設定の考え方に関し詳細な説明を求めている。	
	日本海東縁部に想定される地震による津波の再評価	令和元年9月の審査会合において、事業者から、最新の知見、先行する他の審査結果を反映した日本海東縁部に想定される地震による津波の再評価に関する説明があり、事業者に対し自主設備とする防潮堤や防波堤の損傷を考慮した場合の津波評価について説明を求めている。	
	火山活動の可能性評価、降下火砕物の層厚の再評価	『「設計対応不可能な火山事象を伴う火山活動の評価」に関する基本的な考え方について』を踏まえた火山活動の可能性評価等について説明を求めている。 また、降下火砕物の層厚評価について、その根拠としている給源不明の火山灰層が、敷地内断層に活動性評価に係る追加調査の結果、敷地内で見つからなかったとしていることから、その結果を踏まえた層厚の再評価が必要。	
	防潮堤の液状化対策方針（工事の実施を含む）等の決定	埋立土の液状化と揺すり込み沈下における変状、それらへの対応策に関し詳細に説明するよう指示。事業者は、地盤性状の追加調査を踏まえた詳細評価の実施を検討するとともに地盤改良等の対策工事の可否を検討している。	
大間	重要施設直下の破砕帯の活動性評価	平成31年4月の審査会合において、第四系や基盤岩の変状の評価に関し、変状の形成要因の検討、それを踏まえた基礎地盤での施工対策の妥当性や上載地層法の適用性について更なる説明を求めている。	
	敷地周辺の活断層評価	令和元年6月の審査会合において、事業者から、下北半島西部の地殻変動の評価は、追加的な検討を踏まえても、後期更新世以降の断層活動による局所的なものではなく、広域的隆起の一部ではあるが、当該隆起の「相対的に隆起が早い領域」が敷地に近いため、仮想的な断層を想定するとの説明があった。規制庁から、敷地周辺の地下構造、地質・地質構造及び変動地形の観点から当該仮想断層の設定の妥当性について、追加の検討を指示している。	
東通	敷地内及び敷地周辺の活断層評価	重要施設直下の断層について、おおむね審議済。 それ以外の敷地内～敷地近傍の断層について、評価対象とした断層の代表性や、地球物理学的調査に基づく地下深部への連続性に関して、事業者に対し更なる説明を求めている。 現在、事業者は敷地内～敷地近傍断層の地下深部への連続性の説明性向上のため、ボーリング調査等の追加調査を実施中。 6月及び11月の審査会合において、敷地内～敷地近傍の断層以外の敷地周辺の活断層評価について審議を行った。	
女川2号	設置変更許可申請書の一部補正の内容の確認	おおむね審議済みであり、令和元年11月6日に事業者から提出された設置変更許可申請書の一部補正について、これまで審査会合等で審査した事項が反映されているか確認中。	
志賀2号	重要施設（原子炉建屋等）直下の破砕帯の活動性評価	陸域の一部の評価対象断層の活動性評価について、令和元年10月の審査会合において、追加調査を踏まえて、上載地層法に加えて鉱物脈法による評価結果について、事業者から説明があった。 海岸部の評価対象断層の選定については、平成31年1月の審査会合において、断層の連続性及び新旧関係に係るデータの整理や根拠が不十分であり、事業者に対し更なる説明を求めている。 現在、事業者は海岸部の断層についてデータの拡充のための追加調査を実施中。	

	主な課題	審査の現状及び課題	備考
浜岡 3号	プラント側の審査では、概要を聴取し、主要な論点を通知済	平成27年6月、事業者より浜岡4号の設置許可申請を優先して審査して欲しい旨の表明があった。 それを踏まえ、規制庁は、浜岡4号の審査を優先している。	
浜岡 4号	重要施設直下の破砕帯の活動性評価	平成31年4月の審査会合において、評価対象断層の選定について、H断層系の分布・性状の根拠としたデータ等の整理・分析をし、技術的根拠に基づく敷地内断層におけるH断層系の代表性やH断層系の形成要因の考え方に関する説明を引き続き求めている。	H断層系の分布に係る各種調査結果の整理・分析が進んでいない。 また、敷地内断層におけるH断層系の代表性、H断層系におけるH-9断層の代表性の説明について十分な検討がなされていない。
	プレート間地震による津波の評価	令和元年5月の審査会合において、不確かさ考慮モデルについて、内閣府(2012)の設定しているライズタイム60sまで考慮した破壊開始点を含めたパラメータスタディの実施を再度求めている。	
敦賀 2号	重要施設(原子炉建屋)直下のD-1破砕帯等の活動性評価	令和元年8月の審査会合において、主に浦底断層による地震の地震動評価の見直しについて審議中であるが、それによって基準地震動が増大することから、屋外重要施設の配置等の見直し及び敷地内断層に係る追加調査計画について説明があったが、事業者に対し追加調査に関係しない2号炉直下の破砕帯とK断層の連続性及び活動性について、優先して説明することを求めている。	平成27年11月の審査会合において、まず、重要施設直下の破砕帯の活動性及び浦底断層による地震動評価について審査を行うこととした。令和元年8月及び10月の審査会合において、事業者から、これまでの審査資料に累計1,000を超える記載の不備があったことについて説明があり、再発防止策を徹底し、審査において同様の不備を繰り返さないよう品質管理の徹底を要求した。
	浦底断層による地震動評価	平成31年4月の審査会合において、浦底断層による地震動評価に関し、震源モデルの設定の妥当性等について更なる説明を求めている。	
島根 2号	火山影響評価	大山生竹テフラの噴出規模については、最新の知見を反映した降下火砕物シミュレーションでの噴出規模の設定等の再評価を求めている。	
	周辺斜面の安定性評価	令和元年7月の審査会合及び9月の現地調査を踏まえて、防波壁周辺斜面の安定性評価における地すべり地形の認定及び表層すべりの位置づけについて審査中。	
	-	プラント側の審査については、竜巻、外部火災、内部火災、内部溢水等についておおむね議論が収束しており、その他については、審査再開前からの変更内容を中心に審査を進めている。 耐震・耐津波設計方針については、新たな制震装置の性能の妥当性などの各論点を順次審査中。	
島根 3号	概要を聴取済	平成30年8月、事業者より、島根2号の設置許可申請を優先して審査して欲しい旨の表明があった。 それを踏まえ、規制庁は、島根2号の審査を優先している。	



【特定重大事故等対処施設】  
設置変更許可

	主な課題	審査の現状及び課題	備考
美浜3号	-	令和元年11月1日の審査会合で基準津波及び地質・地質構造に係る議論がおおむね終了したことを受け、今後は、プラント側は耐津波設計方針を、地震・津波側は基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価を確認していく予定。	
大飯3・4号	-	プラント側はおおむね議論が収束しており、地震・津波側は残る基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について今後確認していく予定。	
東海第二	-	令和元年9月24日に申請があり、3回の審査会合を開催。各論点について順次審査を実施中。	
柏崎刈羽6・7号	-	令和元年10月24日に、事業者から、先行プラントの審査内容等を踏まえた補正書が提出された。	

工事計画認可

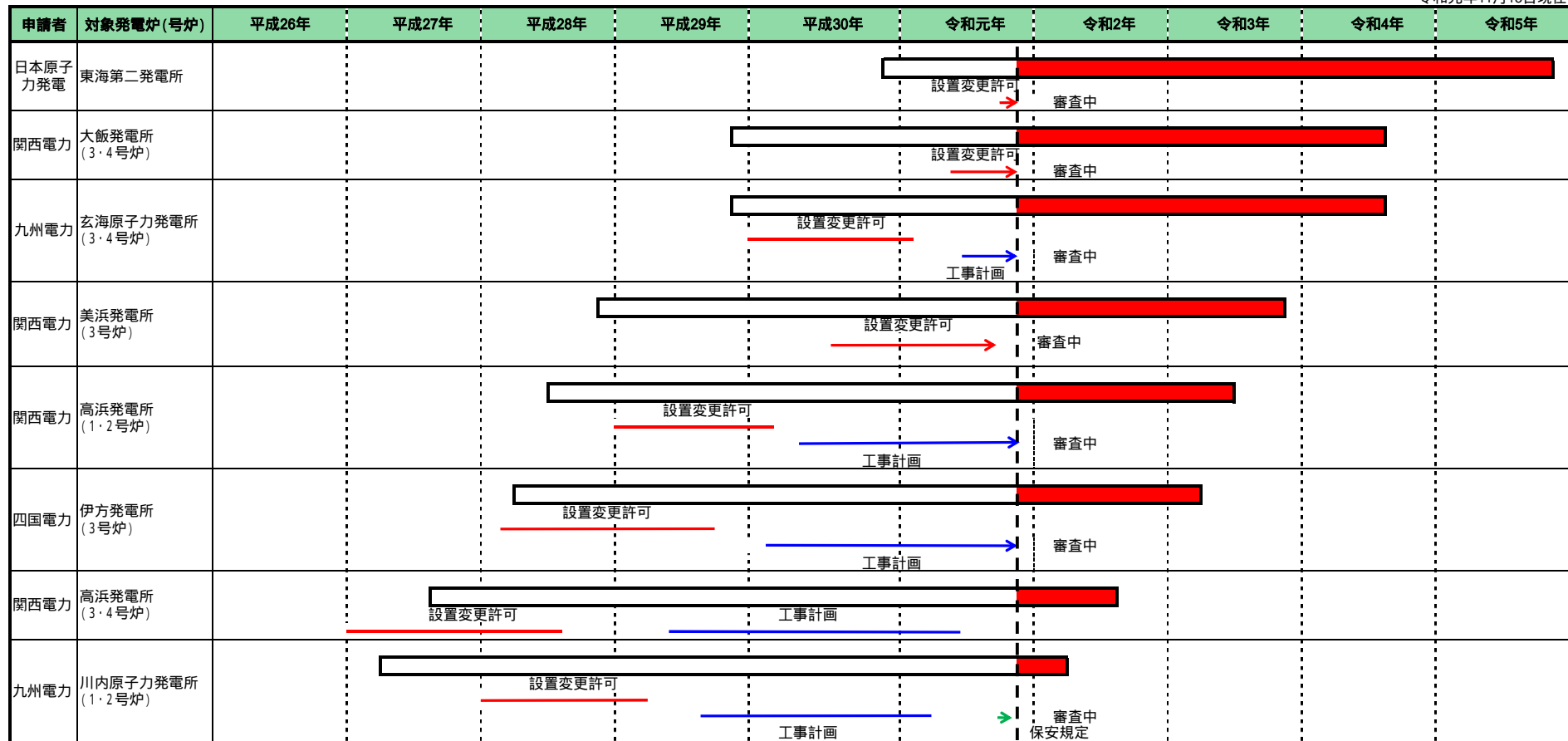
	主な課題	審査の現状及び課題	備考
高浜1・2号	航空機衝突評価方針の妥当性	全4分割申請のうち第1回から第3回の申請について認可済み。令和元年7月の審査会合において、第4回申請分の航空機衝突影響評価に関し、評価条件・評価手法等の妥当性について説明を求めている。	
伊方3号	航空機衝突評価方針の妥当性等	全5分割申請のうち第1回及び第4回の申請について認可済み。令和元年9月の審査会合において、第3回及び第5回申請分の航空機衝突影響評価に関し、評価条件・評価手法等の妥当性について説明を求めている。 また、令和元年8月の審査会合において、第5回申請分の地中に設置する建屋について、耐震設計手法の妥当性等の説明を求めている。	
玄海3・4号	-	3号機については令和元年5月16日、4号機については令和元年6月18日に第1回申請があり、審査会合を開催し、各論点について順次審査を実施中。 また、令和元年9月19日に第2回申請があり、審査会合を開催し、各論点について順次審査を実施中。	全3分割申請。第3回の申請はなされていない。

保安規定変更認可

	主な課題	審査の現状及び課題	備考
川内1・2号	-	事業者から、保安規定審査基準の一部改正（令和元年10月）を踏まえた補正書が今後提出される見込み。	

特定重大事故等対処施設に係る経過措置期間

令和元年11月13日現在



凡例

